

## 2019原爆展を開催

2019年8月23日（金）～25日（日）にかけて、イオンモール和歌山において原爆展を開催しました。

### 『願う』平和から『叶える』平和』

をテーマに、連合近畿地方ブロック連絡会が開催しているもので、今年で6回目の開催となります。

悲惨な戦争、原爆の被害を

・忘れない、語り継ぐ、繰り返さない

ために、広島・長崎の原爆投下直後の状況や被爆の様子を伝える写真パネル30点を展示しました。

この原爆展は、「若者が平和運動を進めることが大事（次世代への継承）」との思いから、連合和歌山青年委員会を中心となって毎年開催しています。

期間中に217人の方々に来場いただきました。ありがとうございました。



▲原爆展の様子

## 2019平和運動へ参加

連合は平和運動に積極的に取り組み、世論を巻き起こし、地球規模での“絆づくり”を進めることで、平和で安定した社会・暮らしの実現をめざしています。

連合は平和運動として主に、次の3つの課題に取り組んでいます。

1. 核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化
2. 在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
3. 北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

### 連合の平和4行動

<p>平和行動 in 沖縄 6月23日（日） 25日（火）</p>	<p>太平洋戦争の末期、沖縄に上陸した米軍との激しい地上戦で20数万人の命が奪われました。このような悲劇を二度と繰り返さないため、6月23日の沖縄「慰霊の日」に戦没者の霊を慰め、平和の尊さを心に刻みます。</p>
-------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------



▲沖縄での平和行動

<p>平和行動 i n 広島</p> <p>8月5日(月)</p> <p>}</p> <p>6日(火)</p>	<p>太平洋戦争終結直前の1945年8月6日、米軍によって原子爆弾が広島に投下され14万人の尊い命が奪われました。人類史上初めて原爆が投下された広島の地で、悲劇が二度と繰り返されないよう訴え続けています。</p>
<p>平和行動 i n 長崎</p> <p>8月8日(木)</p> <p>}</p> <p>10日(土)</p>	<p>広島につづき1945年8月9日、長崎にも原爆が投下され、7万4,000人が息絶え、7万5,000人余が傷つきました。長崎の地から平和への祈りを込め、二度と核兵器が使われないよう強く訴えていかなければなりません。</p>
<p>平和行動 i n 根室</p> <p>9月6日(金)</p> <p>}</p> <p>10日(月)</p>	<p>北方四島は日本固有の領土ですが、第二次世界大戦終結時から今日まで、ロシアによる不法占拠が続いています。領土返還と日ロ平和条約の締結なくして真の平和はありません。</p>



△広島での平和行動



△長崎での平和行動



△根室での平和行動

## 青年委員会若手組合員向け学習会を実施

連合和歌山青年委員会は、若手組合員の連合運動に対する理解を深め、さらなる取り組みの強化を図るため、若手組合員向け学習会を開催しました。

上杉青年委員長から冒頭挨拶の後、第1部として、連合本部組織化専任チームの眞下浩一局長から「連合運動について」と題して講演をいただきました。

第2部として、連合和歌山の小山淳副事務局長から「連合和歌山の取り組みについて」と題した講演を行いました。



▲学習会の様子

## 政策学習会を実施

2019年9月25日(水)和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において「政策学習会」を開催しました。

冒頭、主催者を代表し長田政策局長の挨拶の後、来賓を代表して地方議員団会議代表の長坂隆司和歌山県議会議員より挨拶をいただきました。第1部は、連合本部総合労働局労働法制対策局富高局長から『外国人労働について』と題し、学習会を行いました。第2部は、連合和歌山の長田政策局長から連合和歌山「2020年度・政策制度要求と提言」について説明がありました。第3部は連合和歌山地方議員団会議の片桐県議から議会報告がありました。この学習会に構成組織から64人が参加しました。



▲説明を行う長田政策局長